

2021年1月26日



キリスト教センター 通信 Vol.30

# 激励メッセージリレー



タイトル 『 見上げてごらん 夜の星を 』

大学オルガニスト 伊藤 純子 先生

すっかり冷え込んできました。夜の寒さと星の美しさは、比例するように感じます。一日の終わり、疲れて帰宅するときに、ふと夜空で輝く星を目にすることがあります。何とも言えない不思議な温かさと力強さに包まれます。地上でアクセクしている自分が、とてもちっぽけに感じられ、気持ちが軽くなります。人知を超えた宇宙の摂理へと、一瞬で導かれます。星の輝きに非日常と癒しを感じ取った体験があるのは、私だけではないでしょう。

聖書のクリスマス物語では、イエス・キリストの誕生を祝いに、遠方から3人の博士が訪れるというシーンがあります。その3人の博士は遠方に居たのに、なぜイエスの誕生を知ったのか・・・それは、夜空に輝く星を見つけたからでした。その星に「なにか」を確信し、星が導くままにイエスのもとにたどり着いたと言われています。

もちろん、実際に星が声を出して「こっちだよ」と導いてくれるはずはありません。しかし夜空に美しく光る星を眺めるとき、そこには必ず、理屈を超えた「なにか」の語り掛けがあるように思います。耳を澄まして、その語り掛けに心を傾ける時間を持ちたいと思います。

## キリスト教 一口メモ 「星のうた」 ♪

キリスト教の暦では今、上記の物語を記念するシーズンを迎えています。この季節のための聖歌には、輝く星をテーマにした歌がたくさんあります。その中には、いにしえのヨーロッパで歌われていた有名な讃美歌があり、この歌は古今東西さまざまなアレンジ曲を生み出しています。

本学のオルガン「ルナ」が奏でる、暗い夜空に輝く星たちを感じ取っていただけましたら嬉しいです。 音色はこちら⇒



## 新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

\*どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください\*

### 神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼女一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心にかなった正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておさげいたします。アーメン

### 病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

### 離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

神戸国際大学  
キリスト教センターの  
HPリンクはこちらまで

